

平成 25 年度第 2 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 25 年 8 月 19 日 16 時～16 時 30 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、山中、家崎、浅野、中山（敬略称、順不同）
新規研究計画の審議	
申請者	中森 千穂
研究名	回復期リハビリテーション病棟における失語症者の awareness（気づき）についての検討
研究内容 要旨	主体会病院および小山田記念温泉病院の回復期リハビリテーション病棟に入院中の失語症の方に対して、入退院時にそれぞれ失語症評価、認知機能評価と主訴の聴取を行い、失語症の回復と awareness（気づき）との関連性について検討する。
審議結果	条件付承認
意見	研究実施については承認されたが、説明書と同意書の修正が必要である。確認については委員長に一任する。 <修正箇所> 調査する全ての項目に Anderson's・・・interview を加える。 研究の伊藤→意図、ご家族からの商大→ご家族の承認、 質問課題 2 種類 Anderson's・・・interview を記載する。 短くて 3 時間程度、長くて 3 時間程度→短くて○時間程度、長くて 3 時間程度、RCPM WAIS-III 正式名称で記載する。 台頭対応できません。→対応できません。
新規研究計画の審議	
申請者	島崎 博也
研究名	「温浴の保温効果と末梢血流量の検討」温泉入浴と家庭内浴槽入浴の比較
研究内容 要旨	温泉入浴と家庭用入浴槽の入浴について、保温効果と末梢血流量を比較検討する。
審議結果	条件付承認
意見	・研究期間の日付けを平成 25 年 3 月 31 日から平成 26 年 3 月 31 日に訂正する。 ・保温効果において人工塩化物泉が温泉が → 人工塩化物泉が温水より保温効果が に訂正する。
書類送付による審議	

申請者	楠本 みどり
研究名	介護病棟における膀胱留置カテーテル使用者の離床の効果
研究内容 要旨	長期安静臥床により様々な機能低下や膀胱内の不純物も身体の下 面に沈殿しやすい状況になる。 その為、離床を行い、症状の悪化を最小限に留め生活の質を良くす る。
審議結果	条件付承認
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・説明書に分担研究者の職名、氏名を記載する。 ・共同研究機関がある場合は記載する（ない場合はなしと記載す る）。 ・チェックシートの記入はどの時点で行うのかを記載する。 ・週3回のギャジアップに月曜日、木曜日も含まれるのかを記載 する。 ・ルート閉塞の確認はどのように行うか記載する。
書類送付による審議	
申請者	浅野 勢津子
研究名	がん化学療法におけるパンフレットを活用した指導の効果
研究内容 要旨	化学療法を受けている患者を対象に、理解度や副作用の対策を調査 し、今後の患者指導に活かしていく。
審議結果	承認
意見	・特になし
書類送付による審議	
申請者	岩崎 靖
研究名	プリオン病の自然歴に関する全国調査研究
研究内容 要旨	小山田記念病院のプリオン病が疑われた方を対象（入院、外来共に） として、プリオン病の臨床経過を観察、同病の自然歴を検討する。
審議結果	承認
意見	・特になし
参考	共同研究であって、主たる研究実施機関である東京医科歯科大学に おいてすでに倫理審査委員会の承認を得ている。
書類送付による審議	
申請者	中森 千穂

研究名	回復期リハビリテーション病棟における失語症者の awareness (気づき) についての検討
研究内容 要旨	主体会病院および小山田記念温泉病院の回復期リハビリテーション病棟に入院中の失語症の方に対して、入退院時にそれぞれ失語症評価、認知機能評価と主訴の聴取を行い、失語症の回復と awareness (気づき) との関連性について検討する。
審議結果	差し戻し
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・研究名の awareness という言葉が分かりにくい。 ・研究名の「当院の」は不要ではないか。記載するならば、病院名を記載した方が良いのではないか。 ・申請書、計画書、説明書における「当院」が「主体会病院」か「小山田記念温泉病院」、また、その両方なのかを記載する。
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	志水 陽子
研究名	当院、透析センターにおける管理栄養士の取り組みについて
付議不要と判断された研究計画の報告	
申請者	渡辺 美和子
研究名	ケアプランのニーズの抽出に置いて、患者側、職員側双方の意見が反映されたものになっているのか～アンケート調査～